



JAあそだより



地熱の湯煙に包まれた小国町岳の湯地区

■主な内容

- 祈願祭・仕事始式
- 各生産部会反省会
- 熊本県家の光大会
- 品目横断的経営安定対策座談会

●/▲ 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088





J A阿蘇では1月6日、小雪の降る中、役員100名が参加して新年恒例行事の祈願祭と仕事始式を行いました。

祈願祭終了後の仕事始式で丸山信義組合長は、「3年連続で販売高が落ち込んでいるが、協同組合の基本である組合員の生活向上のために今年も業務に一生懸命取り組んでほしい」とあいさつ。さらに、部門ごとの課題と事項に役員が一体となっていくそう取り組むように訓示しました。

4月に最新のJA-SS新築オープン
西原給油所起工式



西原中央支所に隣接する建設予定地

J A阿蘇西原給油所の起工式が1月7日、西原村小森の建設予定地でJA関係者、工事関係者ら30人が出席して行われ、工事の安全を祈願しました。

丸山信義組合長は「俄山トンネルの開通で西原は南阿蘇の玄関口として交通量も増えており、今後ともさらに組合員や利用者に満足できる給油所に生まれ変わることを期待しています」とあいさつ。そして加藤義明西原村長らが祝辞を述べました。

新設される給油所は旧給油所を解体し建設されるもので、面積は595㎡、4月上旬のオープン予定です。

なお工事期間中の給油や配達には河原給油所に対応されます。

農機安全操作の講習も行う

阿蘇町農機センター祈願祭



工事の安全祈願をするJA及び工事関係者

J A阿蘇阿蘇町農機センターは1月17日、一の宮町のサンクラウン大阿蘇で関係者162人が集い「JA阿蘇&ヤマ1愛用者安全祈願祭」を開きました。

J A阿蘇管内では過去2年連続して死亡事故が発生し、重軽傷の事故も5件起きているため、この1年間、事故のないように出席者一同、安全を祈願しました。そして、引き続き農機安全講習会を開きました。

丸山信義組合長のあいさつ後、ヤマ1農機九州サービス営業の富沢洋平さんがトラクターとコンバインの運転操作や使用方法

法について講習を行い、作業中の安全を呼びかけました。

また、ヤマ1農機営業推進部の板谷俊夫部長より10年後の日本農業のあるべき姿や担い手農家育成に向けた農政の対応について講話がありました。



サンクラウン大阿蘇で開かれた農機安全祈願祭

甘藷を材料にした
レシピ作成

西原甘藷出荷協議会

アイディア料理で消費拡大!



12月8日、本格的な出荷を前に西原甘藷部会は西原村構造改善センターで、部会員や関係者100人が出席し貯蔵甘藷出荷協議会を開きました。

協議会では松浦茂次部会長やJA阿蘇後藤安弘常務、加藤義明西原村長らのあいさつ後、年明けから出荷のピークを迎える貯蔵甘藷の出荷計画や規格の統一などを確認しました。

協議会終了後は部会女性部が作った甘藷のアイディア料理30点が持ち込まれ試食会が行われ

ました。これは甘藷を材料にした料理レシピを作成すること、本年、岐阜県で計画している甘藷の消費拡大宣伝に向けた取り組みの一環として試みられたものです。

料理を作った女性部員は「西原村の甘藷を使った料理をどんどん食べてもらって、消費拡大につなげてほしい」と抱負を語っていました。

今年度、甘藷は122haで栽培されており2400tの出荷量が見込まれています。

「来年度は4億円めざそう」

小国郷ほうれんそう部会反省会

JA阿蘇小国郷営農センターほうれんそう部会は12月13日、JAホールで2005年度生産販売反省会を開き、部会員・行政関係・各市場代表・JA役員ら230人が出席しました。

昨年は6月の空梅雨、7月の水害、高温の影響などで収量が減。販売量は前年比82%の約564t、販売高は前年比72%の2億7471万円と落ち込みました。

宇都宮昭三部会長は「前年比より減少しているが、自然災害にも負けず、186人の部会員が一体となり、また新たな気持ちで、来年に向けて頑張りましょう」とあいさつ。05年度産の生産報告、販売報告、市場情勢を協議しました。



「有利販売できず…」

JA阿蘇中部トマト部会反省会

JA阿蘇中部トマト部会は12月20日、第2回通常総会と平成17年度の反省会を阿蘇市のホテルで開き、部会員や関係者100人が参加しました。

中部トマト部会は149人の生産者が約35ha栽培し、出荷量では前年対比106%の約69万6000ケースありましたが、販売金額では前年対比96%の約6億5040万円でした。

井手明廣部会長は「出荷計画が予想通りでなかったことから有利販売ができなかった1年だった」とあいさつ。

反省会では、次年度品種について桃太郎系を主体とし、圃場条件に適応した品種を選択すること、さらに価格安定事業については、夏秋トマト対象期間の変更をしてもらいたいなどの要望や意見が出されました。



「文化と協同の力で広める、 人・JA・地域・元気の輪」をスローガンに

熊本県家の光大会



協議会)が、1月13日午前10時から熊本市の産業文化会館7階ホールに約700人が集い開かれました。JA阿蘇からも女性部会員ら約50人が参加しました。

大会は主催者挨拶・来賓祝辞後、表彰に移り、ちやぐりん読書感想文の入賞作品の表彰等が行われました。JA阿蘇からは阿蘇市立尾ヶ石東部小学校3年高橋未希さんの「初めて食べた人」を読んで(1ページ掲載)



菅美佐子さん



表彰を受ける高橋未希さん

が優良賞に選ばれ、他の入賞者と一緒に表彰を受けました。

その後、「記事活用体験発表」が行われ、JA阿蘇女性部の菅美佐子さん(2の宮支部)が「夢一輪を家の光に託して」というテーマで、阿蘇の四季折々の旬の農産物を食材に、地産地消の農家レストラン「森の駅どんぐり」開店までの熱い思いや体験談などを語り、優秀賞に輝きました。

午後からは県内11地区JA女性部による「JA生活文化活動発表」が行われ、それぞれ寸劇やフラダンス、ピンクレディ



映像を交え発表する菅さん

ー(ものまね)、牛深ハイヤ踊りなど趣向を凝らした出し物を披露しました。

JA阿蘇からは女性部員21人による「ひよつとこ踊り」が出され、軽妙なお囃子のリズムに合わせ、ユーモラスな踊りをしながら21人のひよつとこが場内に登場すると、会場は笑いと歓声の渦に包まれました。ひよつとこがステージに上がり踊り始めると、会場からも飛び入りで踊り出す人も現れ、さらに盛り上がりがありました。

大会は最後に「元気宣言」を採択し終了しました。

家の光の普及活用及び教育文化活動の充実をめざし、組合員家族、地域住民の暮らしの向上と協同意識の高揚を図ることを目的に、第53回県家の光大会(主催JA熊本中央会・家の光協会、協賛JA熊本県女性組織

JA阿蘇女性部も記事活用、生活文化活動発表

会場に笑いと歓声！



※写真上がひよつとこ面を外した女性部のみなさん

元氣宣言

◆「仲間づくり」

協同することの大切さを学び、「参加・参画する仲間づくり」のため、「家の光」長期愛読運動に取り組み、JAに結集する仲間の輪をひろげます。

◆「食と農の教育」

「食と農の教育」をすすめ、食の大切さ、農の果たす役割への理解を深める取り組みをすすめます。

◆「いのち」

いのちと環境を大切に、すすんで高齢者福祉・助け合い活動に取り組み、JAへの求心力を高め、心豊かで安心できる地域づくりをすすめます。

◆「文化活動の展開」

「地上」「ちやぐりん」「やさしい畑」「家の光図書」の普及活用運動に積極的に取り組み、記事活用をおして地域に貢献する文化活動を展開します。

支所統合により、
親睦さらに深めようと
女性部Ⅱ研修・親睦会を開く

阿蘇町中央支所管内の支所統合に伴い、JA阿蘇女性部の阿蘇町支部と黒川支部が合併したことをうけ、部員相互の親睦をさらに深めることを目的に12月11日、南阿蘇村のホテルで全体研修会および親睦会を開き160人が参加しました。

田中弘子阿蘇町支部長をはじめJA阿蘇丸山信義組合長、管内地区代表理事のあいさつ後、アトラクションが行われました。ステージでは、各地区代表の健康体操、エアロビクスなどグループ活動が披露され、会場からは大きな拍手が送られ大盛況となりました。



JA阿蘇青壮年部を北海道の
JA上川地区青年部が訪問



JA上川青年部員とJA阿蘇青壮年部の皆さん

JA阿蘇青壮年部と友好締結をしている北海道のJA上川地区青年部員9人が、1月25日から2日間、JA阿蘇青壮年部協議会を訪れ、交流を行いました。今回の訪問は、双方のメンバーが過去交流した際に、より本格的に交流を深めようと話していたことがまとまり、2000年にJA上川地区青年部とJA阿蘇郡青壮年部協議会が全国で初めて締結書を交わして以来、



お互いの活動状況を報告し合った交流会

交流が続いているものです。

交流会ではJA阿蘇の山部賢次営農部長がJA阿蘇の概況について説明。JA阿蘇青壮年部の市原恭一副会長とJA上川青年部の前田靖雄団長が、それぞれの活動状況や農政活動の内容について説明を行いました。

また一行はJA阿蘇青壮年部一の宮支部の田端秀吉さんのいちごハウス圃場を視察し、JA阿蘇の指導員より説明を受けました。

JA上川地区青年部員は「北海道の冬場は路地では農業が出来ないので、ハウスを利用した施設園芸に取り組めたら」といちごハウス栽培について真剣に説明を聞いていました。

JA阿蘇青壮年部の今村孝典

会長は「気候や作目形態は違うが、2つの地域が刺激し合い、お互いの農業振興の向上に役立てば」と抱負を語っていました。

JA阿蘇のイチゴ集荷を
JAふんご大野
イチゴ生産者が視察

1月24日、JAふんご大野いちご生産部会の一行13人が、JA阿蘇の阿蘇町集荷場（野菜センター）を訪れ、イチゴの選果ラインや予冷庫などを見学しました。早朝であったため、あいにくイチゴの選果作業は行われていませんでしたが、JA阿蘇の白川幸生職員が阿蘇町でのイチゴ栽培の概要、選果作業の様子、集荷状況など説明しました。また、JAふんご大野の参加者からは栽培方法、バック詰めの手順、パートさんの配分、パッケージの価格など質問が次々出されていました。

阿蘇町イチゴ生産部会のイチゴの集荷は3月にピークを迎え、5月末まで集荷が行われます。尚、今季は120万バック出荷の見込みです。



てきばきと行われるイチゴのバック作業



JA阿蘇白川職員の説明を聞くJAふんご大野の皆さん



選果ラインを見学するJAふんご大野の皆さん

ユリ栽培へ挑戦 JA農業インターン事業



ユリ栽培に取り組む安武さん(左)と小代さん

地域農業の担い手となる人材の育成・確保を目的として、JA阿蘇でも平成17年度に実施している「JA農業インターン事業（事業実施主体はJA熊本中央会）」も研修期間が残りわずか2カ月となりました。

南小国町の小代正雄さん(55)方で研修中の安武裕介さん(23)は現在、初めてとなる花卉栽培に取り組んでいます。

安武さんは、実家の農業経営と違うことをしてみたかったという好奇心旺盛の若者。「見るもの何かもが初めてで、覚える事がたくさんあり大変だが、

作ることのおもしろさ、楽しみがあり、農業は楽しい」と感想を語っています。

一方、小代さんは「花卉栽培は高い技術が必要。半年かけて栽培する花もある。今後とも勉強を続けて花卉栽培で高収入へとつながるよう頑張ってもらいたい」と激励していました。

安武さんは研修終了後、6棟のハウスでユリ栽培に挑戦する予定で、将来は1棟にまで増やしたいと意欲満々です。花卉栽培1年生の安武さん、今年はどうなるユリの花を咲かせてくれるか楽しみです。

表紙「岳の湯(たけのゆ)」の説明

小国町の北東部、涌蓋山(通称=小国富士)のふもと岳湯地区ではいたる所から地熱の湯煙が上がり、名物料理「地鶏の地獄蒸し」で知られるように食べ物を蒸したり、暖房に使ったりしてきました。地区の小高い丘には自然が満喫できる「岳の湯温泉」があります。

集落営農推進座談会

「品目横断的経営安定対策」について説明行われる

JA阿蘇一の宮中央支所管内では1月23日から31日まで集落座談会を各公民館で行いました。水田面積を保有している48集落855戸に通知した結果、43集落432戸の出席があり、出席率は50・5%に留まりました。

この座談会には、JA・行政・土地改良区の役員12名も参加。農村集落の混住化や兼業化の中で担い手不足や高齢化が進み、農家の経営体制が失われつつあるといった問題を解決するため、担い手の育成や集落営農の組織作りの取り組みのための話し合いを行うことを目的にしており、併せて平成19年より導入される「品目横断的経営安定対策」

についての説明も行われました。

JA阿蘇の三森和義理事は「地域営農を確立する上で集落営農組織を作り、生産基盤をしっかりとしたものとし、担い手を育成しながら売れる農産物を作っていくというシステムを構築する必要性を理解してもらいたい」と座談会の意義を話していました。

今後はより多くの農家に集ま

出席率50%にさらに周知の必要性



集落営農の資料ビデオを見る出席者の皆さん

JAきものまつり



振袖

振袖きもの
25点セット

298,000円

(税込312,900円)

380,000円

(税込399,000円)

580,000円

(税込609,000円)

780,000円

(税込819,000円)



訪

人生で一番鮮やかな時を
迎えるあなたを優雅に
可憐に演出します。

黒紋付

● 喪服セット

(仕立て付き)
・訪問着・胴裏・袋帯・帯芯
・帯ノ帯揚げ

298,000円

(税込312,900円)

展示品目

振袖・留袖・色留袖・訪問着
小紋・紋付地・袋帯・喪服

可愛らしいお子様・お孫様の一生に残る楽しい思い出を
演出致します。

七五三

●七五三きもの
38,000円より
(税込39,900円)



1 お買い上げコース別に記念品進呈!!

Aコース Bコース Cコース
(50万円以上) (30万円以上50万円未満) (10万円以上30万円未満)

2 振袖ご購入のお客様に
お得な特典プレゼント!!

健康相

無料血液
測定会

血液が20歳若
クセライトシ
(厚生労働省許可 医療用)

ファッションと
健康フコシルマ

フコシルマ
28,000円
(税込29,400円)

ご来場者全員に

詳しくは、当日係

【主催】JA阿蘇一の宮中央・産山・波野支所

共催/ JA女性部・(株)エコーブ熊本

開催日/平成18年

2月25日土～26日日

初日 AM10:00～PM7:00 2日目 AM10:00～PM6:00

会場/一の宮中央支所会議室

【主催】JA阿蘇小国郷中央支所

共催/ JA女性部・(株)エコーブ熊本

開催日/平成18年

3月3日金～4日土

初日 AM10:00～PM7:00 2日目 AM10:00～PM6:00

会場/小国郷中央支所2階和室

問着

●訪問着セット

- (仕立て付き)
・訪問着・胴裏・袋帯・帯芯
・帯メ帯揚げ

298,000円より
(税込312,900円)

●色無地セット

- (仕立て付き)
・色無地・胴裏・袋帯・帯芯
・長襦袢・帯メ帯揚げ

198,000円より
(税込207,900円)



留袖

●留袖セット

- (仕立て付き)
・留袖・胴裏・袋帯・比翼地
・帯メ帯揚げ・紋入り

380,000円より
(税込399,000円)



プラスワンコーナー

訪問着・留袖をご購入
いただいたお客様に対し、「袋帯」1本プレゼント!!

作家物特別ご奉仕 コーナー

コシノ・アヤコ 数量 通常価格580,00円を
(訪問着・色留袖) 限定 (本体価格) 198,000円

バック特別ご奉仕 コーナー

オーストリッチのバッグから小物まで



・附下・色無地・和装小物

相談コーナー



商品プレゼント!!

頁にお尋ね下さい。

天然宝石 特別御予約品

着物を引立てる、ステキな天然宝石の帯留です。

帯留

OBIDOME

取り外し楽々
クリップ式
(サイズ40x30x7mm)

A. めのう



B. オニキス



C. アベンチュリン



D. タイガーアイ



E. 紅水晶



F. ソーダライト



G. ローズナイト



ナチュラルストーン 紅・緑・ブルー・琥珀など美しい色模様の天然石。

特別予約価格 2,730円

早春の阿蘇で

「めぐみゆたか」を



J A阿蘇は阿蘇産大豆の区域外PR活動として、阿蘇産大豆キャンペーン（主催J A阿蘇、後援熊本県阿蘇地域振興局、阿蘇市）を2月1日から3月31日まで展開しています。

阿蘇産フクユタカが「阿蘇めぐみゆたか」と愛称が決まったため、この名称をさらに消費者にアピールしながら地産地消キャンペーンを行うのが目的です。

「阿蘇めぐみゆたか」のおいしさを阿蘇で堪能してもらうために、キャンペーン期間中は豆腐販売店や飲食店、宿泊施設で「阿蘇めぐみゆたか」を原料にした豆腐、豆腐製品、それらを用いた豆腐料理などを楽しむことができます。併せて豆腐の手作り体験教室も実施されます。阿蘇は恵まれた自然環境のもの

とで良質の大豆が栽培され、県下屈指の大豆産地に数えられ「阿蘇めぐみゆたか」はその豊かな香り、甘みで豆腐づくり職人から高い評価を得ています。

キャンペーンのマップ&ガイドはJ A阿蘇、阿蘇地域振興局、阿蘇市役所、豆腐販売店などに備え付けてあります。

また2月12日放送のRKKアグリウォッチングでも、キャンペーンの模様が放送されました。キャンペーンの詳しい問い合わせは、J A阿蘇営農部（電話0967-226115まで）どうぞ。

不祥事を未然に防ごう コンプライアンス（法令順守） 研修会実施

不祥事の未然防止により経営管理体勢の強化を図ろうとJ A阿蘇は1月19日、一の宮中央支所においてコンプライアンス責任者・担当者83人が出席し研修会を行いました。

研修会では、J A阿蘇におけるコンプライアンス態勢の確立に向け、事業別留意事項、多発事業別留意事項、不祥事件等の概要について研修を行い、さらなる内部管理態勢の構築を図る

「早めの準備」を呼びかけ J A阿蘇南部地区青色申告会



J A阿蘇南部地区青色申告会は12月16日、南阿蘇村白水総合センター集会ホールにおいて、農家を対象にした消費税の申告講習会を開きました。

講習会には17年分から新たに消費税申告が義務付けられる課税対象農家の60人が参加し、選届の期限が迫っている「簡易課税選択届け出書」の確認や相談などが多く行われていました。また消費税申告については、事例を使った簡易課税申告と一般課税申告をそれぞれ記載する



研修会に参加した
管理者・責任者のみなさん

こととなりました。研修会に出席した責任者は、ここ数年におけるJ Aの事例報告を受け「自分の職場は自分たちで守り不祥事の未然防止に努めたい」と話していました。

練習をしました。

参加した農家の人は、「初めてで不安であったが、今回の研修で理解ができた」と感想を述べており、講習会は大変好評のようでした。

申告会の甲斐正則会長は、「今年度は混乱のないように早めの準備をお願いします」と呼びかけていました。

写真1 講習会で事例を計算する

参加者のみなさん



「初めて食べた人」を読んで

阿蘇市立尾ケ石東部小学校三年

高橋 未希

わたしは、どんぐりが食べられることを初めて知りました。

お父さんにきいたら、お父さんも、昔どんぐりを食べたことがあるそうです。それは、夏まつりのえんにちでやきぐりみたいいやいて食べたそうです。あついときはしいの実はおいしいのですが、さめてつめたくなったらかたくてまじかたそうでした。

昔じいちゃんたちのころ食べ物がないままだったとき、よく食べたそうです。

初めて食べた人は、りすさんが食べたのを見て、食べれると思った人かもしれません。

お父さんが、学校や公園に生えている木で、せつたい食べたたら死んでしまう木はキョウチクトウだと教えてくれました。べんとうのおはしがないときに、ついついおれやすく手ごろなキョウチクトウのえだをおはしにしておべんとうを食べたら死ぬそうです。

あと、ニツケの木の葉をかじると、ニツケ水の味がするそうです。

ちなみに、どんぐりの実にあなが、あいっていたら、それはせかい一番かたいこん虫のそう虫くんのでたあとです。そう虫くんの仲間、お米の中にある鼻の長い米虫です。

あと、こどもが食べたらいけないみ近かな木の実、赤いグミの実とかわがついたままのかきの実で、おながかいたくなるそうです。おもしろい実があまりなかった昔は、それを食べて死んだこどもが多かったそうです。

初めて食べる木や木の実、大人にそうだと聞いて食べましょう。

お父さんは、学校帰りに道草をして、すっぱいギンシと口びるがむらさき色になるクワの実などを食べていたそうです。ほかに、あまいあけびや黄いろい木いちご、赤い野いちご、あまいれんげのみつ、やまいもの実むかご、ゆでるとおいしいノビルなども食べていたそうです。

※お詫び※前号の「ちやぐりん読書感想文」北ひかりさんの作文「朝食の大切さ」文章中に脱字がありご迷惑をおかけしました。北さんをはじめ、関係者の皆様にお詫び申し上げます。

〔編集委託・坂口編集事務所〕

平成17年度 JA共済全国小・中学生「書道・交通安全ポスターコンクール熊本県大会」入賞者

書道(半紙の部)

- ◆JA共済連熊本 県本部長賞・銀賞
河村 仁(阿蘇市立碧水小学校2年) 高村真里子(小国町立北里小学校6年)
- ◆JA共済連熊本 県本部長賞・銅賞
田上陽香里(南阿蘇村立白水小学校4年)
- ◆JA共済連熊本本部長賞・佳作
田上 亮平(南阿蘇村立白水小学校2年) 河津はなの(小国町立宮原小学校3年)

書道(条幅の部)

- ◆JA共済連熊本 県本部長賞・銅賞
佐藤 涼香(阿蘇市立宮地小学校2年) 田上陽香里(南阿蘇村立白水小学校4年)
田上 春菜(南阿蘇村立白水中学校1年)

県下JA窓口 ロールプレイング大会

阿蘇町中央支所の
鎌倉・阿部ペア出場

J A窓口での接客技術を競うJAバンク熊本「第3回窓口ロールプレイング大会」が1月14日、県内11のJAから選ばれた代表チーム（各2人ずつ）が出演して、宇城市ウイングまつばせで開かれました。

大会はJA阿蘇阿蘇町中央支所の中嶋しおみさんが総合司会を担当し進められ、JA阿蘇が



テラー役の鎌倉さん(右)と客役の阿部さん

らは昨年10月地区大会で選ばれた阿蘇町中央支所の鎌倉美枝さんと阿部ルミさんペアがテラー（窓口担当）と客役になって登場。あらかじめ設定された事例に従って、定期預金解約での対応やお客様に有利なJA自動車ローンの推奨など日ごろ窓口での接客技術を競い合いました。

審査には各JAの組合長、フイナンシャルコンサルタント、農林中金熊本支店長が当たりました。競技は各チームとも優劣がつけがたい接戦となり、JA阿蘇チームは惜しくも上位入賞を逃しました。



出場者・窓口リーダーの紹介(写真上)。総合司会を担当した中嶋さん(写真右)

「JAの未来のために」 戦略デザイン研修成果報告会



企画会議で戦略デザイン研修会の報告を行う工藤さん



戦略デザイン研修会の報告を聞く管理者

JA熊本教育センターで経営幹部職員養成を目的として開かれた戦略デザイン研修会の成果を、JA阿蘇から研修会に参加した南部営農センター園芸課の工藤徳義さんが1月24日、一の宮中央支所で開かれた企画会議で報告しました。

工藤さんは「あるべきJAの未来の姿を描き、そこから何をすべきか考え一つ一つ近づける具体的な取り組み案」として、JAの経営環境を「過去・現在・未来に分類して「現状延長線の危機構造図」「成長期と成熟の

戦略の違いについて」「JA事業のあるべき姿」「経営管理のあるべき姿」「21世紀におけるJAの存在意識」「私のJA改革案」「私の行動改革案」について、それぞれ具体的に発表しました。



満足度向上実践交流会

JA総括の 野尻英夫さん発表



1月18日、菊池郡合志町のJA熊本教育センターで「JAグループ熊本・満足度向上実践交流会」が行われ、JA阿蘇からはJA総括の野尻英夫さんが発表を行いました。満足度向上とは、JA事業を利用した人が満足し、利用の輪が広がり、組合員から確実に選ばれるJA事業となることを目指して熊本県下JAグループとして、組合員満足度向上への取り組みを展開する運動の一環として開催されたものです。

野尻さんは「お客様の満足のために！」と題して、交通事故処理のサービスを受ける契約者に対しアンケート調査を行い、契約者の思いを直接聞き、お客

様の満足度が向上できるようにアンケートの内容を検討し、今後の事故処理サービスの改善に努める内容を発表しました。

熊本県下8JAの発表後、出席者によるアンケートで採点が行われ上位3名が表彰され、野尻さんは「今後が期待できるで賞」を受賞しました。

共済窓口対応向上のため CSTを実践

JA阿蘇は共済担当者の窓口対応向上のため、カウンターセールのトレーニング(CST)を実践し、具体的な改善点と目指すべき課題に取り組んでいきます。



窓口でお客様に共済の更新を勧める実践研修

一の宮中央支所へ産山・波野各支所の信用事業を店舗統合

JA阿蘇の組織整備で、産山支所と波野支所は1月30日より、一の宮中央支所へ信用事業業務の統合を行いました。

しかし、今後も引き続き信用取次店舗として産山支所と波野支所は営業されますが、統合により以下の手続が必要となりました。

産山支所と波野支所で発行している通帳等は、切り替えが必要となり、一の宮中央支所・産山支所・波野支所で切り替えを行っています。キャッシュカードは新店舗として新しく3月1日以降に発行するため、現在ご利用

用頂いているキャッシュカードは、引き続き1年間は利用できますが、新しいキャッシュカードをご利用された時点で使用できなくなります。

新しいキャッシュカードは旧キャッシュカード発行を行った店舗で発行しますので、3月1日以降に旧キャッシュカード及びお届け印を持参の上、来店して頂くことが必要となります。

また給与や年金等の口座振込や口座振替をご利用されているお客様の手続については、下記店舗へお尋ね下さい。

事前研修として全共連普及部講師グループの三瓶健一さんを講師に、窓口における基本的な話法と自動車共済(あんしんDX)の仕組みを研修し、1月17日～19日までフォロワー研修として講師が各支所で個別指導を行いました。

フォロワー研修では、実際の職場(支所窓口)でお客様役の県本部職員に「あんしんDX」の更新を勧める実践研修を行いました。

講師が接客スキル(方法)について、またお客様役がセールスキルについて個別指導を行い、管理者にも同様にフィードバック(結果をもう一度現状に当てはめて考え直すこと)をしました。

その結果は後日、管理者と本人へレポートで報告され、窓口担当者の資質向上が図られることになっています。

もちつきをする来店客



正月用品を買い求める買い物客



菊池郡合志町で直販店として営業している「郷の四季」は12月29日、今年で連続10回目となる年の瀬恒例の年末大売出しを行いました。店頭には野菜のほか、久木野あけぼの会による出来立てのもち販売、正月用品のしめ縄や門松の販売、西原からいもの天ぶらの販売などがありました。また、のつべ汁やせんざいのサービスも行いました。

地元の買い物客は「毎年、楽しみにしている。この冬は特に寒いのでせんざいがおいしかった」と話していました。

今村昭洋店長は「楽しみにしているお客さんがいて大変うれしいです」と語っていました。

「JA植木まつり」開催中

熊本に春の訪れを告げる「JA植木まつり」が2月27日まで県農業公園で開催されています。

JA阿蘇管内からも庭木・果樹苗、モアル庭園、花鉢物、盆栽などが生産者によって出展され、所狭しと並べられています。

また、農産加工品やだま汁、西原のサツマイモなどの直売所も設けられ連日賑わいをみせていました。

JA阿蘇きらり

「お客様からの
お褒めの電話に感激！」



小国郷営農センター事業課
宇都宮寧美さん
(うつのみや やすみ)

小国郷営農センター事業課で、経理事務を担当している宇都宮寧美さん。

愛称「やーちゃん」で親しまれている宇都宮さんは、経理の仕事は初めてなので、覚えることがたくさんあり大変ですが、みなさんのご迷惑にならないよう、早く覚えて、一人前になりたいと意気込みを語ってくれました。

自分自身の性格は“のんびり屋さん”だということですが、特技はピアノで、毎週1回、地元のコーラス部の伴奏をされている活発な一面もあります。

最近嬉しかったことは、小国郷特産品のヨーグルトがとても美味しいと、お客様からお褒めの言葉の電話をいただいたことだそうです。

尊敬する方は…との問いに少々照れながら、明るくてかわいい人。芸能人に例えると妻木聡さんみたいな方がタイプだそうです。

インタビュー中、終始笑顔の宇都宮さん。きっと、職場の雰囲気をもたせてくれていることだと思います。

理事会・監事会報告

■平成17年度第11回理事会

日 時 平成17年11月28日(月)午後1時30分
場 所 一の宮中央支所大会議室
議 題 10月末実績報告及び3月見込み決算について

- 1) 農林中金劣後ローン借入申込みについて
- 2) 災害資金の対応について
- 3) 農業生産資金(農機具購入)及びマイカーローン金利の対応について
- 4) 貸出金について
- 5) 土壌分析検定料金について
- 6) 平成17年度災害復旧対策事業について
- 7) 理事会日程変更について
- 8) 営農部機構一部変更について
- 9) 担い手経営安定対策推進図について
- 10) 職員年末賞与支給について
- 11) その他

報告事項 余裕金の運用状況について
報告事項 理事会承認後の貸付金経過について
報告事項 JAバンク基本方針に基づく「経営状況に関する事項の報告」について
報告事項 JA阿蘇給油所経過年数について
報告事項 平成17年産米検査状況について
報告事項 平成18年度職員募集(二次募集)について

■平成17年度第12回理事会

日 時 平成17年12月26日(月)午後1時30分
場 所 一の宮中央支所大会議室
委員会報告(債権管理委員会、経済専門委員会)
議 題 11月末実績報告

- 1) 平成17年度上半期監事監査報告について
- 2) 不良債権の償却要領(案)について
- 3) 平成17年度資産査定要領(案)について
 - ①資産査定要領新旧対照表について
 - ②JA阿蘇担保評価委員会設置・運営要領(案)について
- 4) 貸出金について
- 5) 信用事業店舗統廃合について
- 6) 信用事業方法書の変更について
- 7) 三共牧場閉鎖について
- 8) 郷の四季閉鎖について
- 9) 畜産環境緊急特別対策事業(地域循環型畜産モデル)について
- 10) 購買取引契約極度額基準表について
- 11) 年末年始休業について
- 12) その他

報告事項 平成17年度導入家畜等棚卸監査実施について
報告事項 JA阿蘇給油所経過年数について

■平成17年度第13回理事会

日 時 平成18年1月30日(月)午後1時30分
場 所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
 2. 組合長挨拶
 3. 協議事項
委員会報告(債権管理委員会、経済専門委員会)
- 12月末実績報告
- 1) 平成17年度上半期監事監査回答書(案)について
 - 2) 平成17年度決算監査期中改善指示書について
 - 3) 系統債権管理回収機構への債権譲渡について
 - 4) 担保評価基準について
 - 5) マイカーローン及び農機ローン金利改定(案)について
 - ①JAマイカーローン「輪・輪スプリングキャンペーン」実施に伴う対象ローンの金利改定(案)について
 - ②農業生産資金(農機具購入)及び農機ローン金利改定(案)について
 - 6) 貸付金について
 - 7) 自動車共済損害調査業務の分担に関する協定の締結について(案)
 - 8) 畜産環境緊急特別対策事業(ストックヤード)について
 - 9) 従たる事務所の新設及び廃止について

報告事項 平成17年度資産査定監事監査実施について
報告事項 余裕金運用状況について
報告事項 税務調査について(印紙税・源泉所得税)
報告事項 職員資格認証試験等取得状況について



JA阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 辞 令	発令年月日	旧 辞 令
佐藤 瑞美	金融共済部保全課保全係	平成17年12月15日	営農部営農係

JAマイカーローン

平成18年

2月

1
WED

3月

31
FRI

輪

輪

スプリング キャンペーン



ご利用用途

- 自動車、バイクの購入
- 運転免許取得費用
- 車検、車の修理費用
- 車購入時の付帯費用（保険料・税金等）



金額 ▶ 500万円以内

返済期間 ▶ 6ヶ月以上7年以内

返済例

借入額 ▶ 100万円
(うちボーナス返済50万円)

金利 ▶ 年 1.9%

返済期間	毎月支払額		ボーナス支払額	
3年	36回	14,299円	6回	86,125円
5年	60回	8,742円	10回	52,649円

優遇金利

年 1.90%

(貸付期間5年以内)

年 2.50%

(貸付期間5年超)



農機ローンも
取扱っています
ご相談下さい

JA阿蘇は地域の方ならどなたでもご利用いただけます。

問い合わせ先

阿蘇農業協同組合

TEL(本所) 0967-22-6111

各中央支所
本所

金融共済課
貯金融資課